



Cisco Unified Communications Manager Express 8.0 DnD 機能ボタンと MeetMe 会議のロック解除のサポート (SCCP)

Cisco Unified Communications Manager Express 8.0 Support for DnD Feature Button and Unlocked MeetMe Conference (SCCP)

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager Express 8.0 (Cisco Unified CME) の SCCP IP Phone 用 Do Not Disturb (DnD; サイレント) 機能ボタンと MeetMe 会議ブリッジのロック解除のサポートについて説明しています。

機能情報の検索

ご使用のソフトウェア リリースが、このモジュールで説明している機能の一部をサポートしていない場合があります。機能に関する最新の情報と警告を確認するには、ご使用のプラットフォームおよびソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明している機能に関する情報と、各機能をサポートしているリリースのリストを確認するには、「[Cisco Unified CME 8.0 の機能情報](#)」(P.10) を参照してください。

プラットフォームのサポートおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

内容

- 「Cisco Unified CME 8.0 の前提条件」 (P.2)
- 「SCCP CUCME の DnD 機能ボタンと MeetMe 会議ブリッジのロック解除に関する情報」 (P.2)
- 「Cisco Unified CME で DnD 機能ボタンを設定する方法」 (P.4)
- 「Cisco Unified CME で表示の無制限を設定する方法」 (P.5)
- 「Cisco Unified CME で after-hour login http を設定する方法」 (P.6)
- 「参考資料」 (P.8)
- 「Cisco Unified CME 8.0 の機能情報」 (P.10)

Cisco Unified CME 8.0 の前提条件

- Cisco Unified CME 8.0
- Cisco IOS Release 15.1(1)T

制約事項

- ユーザが単一回線または二重回線モードで DN モードを設定すると、すべてのフォールバック DN に対する設定済みの DN モードがサポートされます。
- **max-dn XX dual-octo** または **max-dn XX octo** を設定すると、新しい Cisco Unified 6921、6941 および 6961 IP Phone に関連付けられたすべての DN に二重回線 DN モードが適用されます。
- CME-as-SRST では、ユーザが **srst dn line-mode dual-octo** または **srst dn line-mode octo-line** を設定する場合、Cisco Unified 69xx シリーズの IP Phone に関連付けられた SRST 取得済みのすべての DN に二重回線 DN モードが適用されます。
- SRST および CME-as-SRST では、Cisco Unified 6921、6941 および 6961 IP Phone に関連付けられた DN に **huntstop channel** が適用されます。
- Cisco Unified Communications Manager Express モードの Cisco Unified IP Phone モデル 6921、6941 および 6961 では、1 つのボタンにつき 1 コールだけがサポートされます。Cisco Unified IP Phone 6921、6941 および 6961 の DN は二重回線 DN として設定し、その DN でハントストップチャンネルを設定することをお勧めします。この DN の 2 番目のチャンネルは、コール転送または会議だけに使用できます。ボタン **c** (コール ウェイティング オーバーレイ) および **x** (拡張/オーバーフロー) は、Cisco Unified 6921、6941 および 6961 IP Phone ではサポートされていません。
- SRST で **call-forward busy** が **call-manager-fallback** の下でグローバルに設定されている場合、電話機の複数のボタンに割り当てられた同じ内線番号で設定されたフォールバック DN の最後のメンバだけに、**call-forward busy** が適用されます。フォールバック DN が一意の場合は、**call-forward busy** が適用されます。

SCCP CUCME の DnD 機能ボタンと MeetMe 会議ブリッジのロック解除に関する情報

DnD 機能ボタンと MeetMe 会議ブリッジのロック解除を Cisco Unified CME 8.0 で設定するには、次の概念を理解する必要があります。

- 「DnD 機能ボタン」 (P.3)
- 「MeetMe 会議のロック解除」 (P.3)

DnD 機能ボタン

Cisco Unified CME 8.0 では、新しい DnD 機能ボタンのサポートが追加されています。DnD 機能ボタンを使用すると、DnD ソフト キーを使用する代わりに、回線ボタンにサイレント機能を設定できます。電話機がアイドル状態のときにこのボタンを押すと、DnD 機能をイネーブルまたはディセーブルにできます。電話機で **hunt-group logout dnd** が設定されている場合、この機能ボタンは Hunt Log (HLog) ボタンとしても使用できます。HLog ボタンとして使用している場合、このボタンを押すと DnD がアクティブまたは非アクティブになります。DnD 機能がイネーブルな場合は LED がオンになり、ディセーブルな場合は LED がオフになります。

MeetMe 会議のロック解除

Cisco Unified CME 8.0 では、MeetMe 会議のロック解除のサポートが追加されています。Cisco Unified CME で MeetMe 会議ブリッジのロックを解除すると、ユーザは MeetMe ソフト キーを押さずに MeetMe 会議を開始できるため、外部発信者も MeetMe 会議を開始できるようになります。



(注)

MeetMe 会議のロック解除を設定するには、同じ番号に関連付けられたすべての **ephone-dn** タグで、ロック解除オプションを設定する必要があります。ロック解除オプションを設定していない **ephone-dn** タグがあると、MeetMe 会議のロック解除が正しく機能しない場合があります。

表示の無制限

Cisco Unified CME 8.0 では、メッセージ表示の無制限 (**unrestricted message display**) のサポートが追加されています。このコマンドにより、**ephone** のメッセージ表示オプションを記述する一連の属性を定義できます。

after-hour login http

Cisco Unified CME 8.0 では、**after-hour login http** のサポートが追加されています。これにより、発信先番号がコール ブロッキング期間中の定義済み番号パターンと一致するかどうかにかかわらず、**after-hour** ブロックを解除してコールを発信できます。

ユーザが **after-hour login http** コマンドを設定すると、現在のログイン操作が少し変更されます。**after-hour login** のメカニズムは、現在のモデルに存在する一部の User Interface (UI; ユーザ インターフェイス) 制限のために改良されています。

回線ボタンの設定

Cisco Unified 69xx シリーズ IP Phone では、最初のボタンを常に回線ボタンとして設定します。最初のボタンが回線ボタンとして設定されないと、電話機にタイトルとプライマリ番号が表示されません。Cisco Unified 6941 または 6961 ephone は「**button 2:1**」として設定されます。

1 ボタンの最大コール数

Cisco Unified Communications Manager Express モードの Cisco Unified IP Phone モデル 6921、6941 および 6961 では、1 つのボタンにつき 1 コールだけがサポートされます。Cisco Unified IP Phone 6921、6941 および 6961 の DN は二重回線 DN として設定し、その DN でハントストップ チャネルを設定することをお勧めします。この DN の 2 番目のチャネルは、コール転送または会議だけに使用できます。

Cisco Unified 7931 IP Phone では、1 つのボタンにつき 2 コールだけがサポートされます。Cisco Unified 7931 IP Phone で `max-calls-per-button` を 3 コール以上に設定しようとする、その `max-calls-per-button` の設定は失敗します。

Cisco Unified CME で DnD 機能ボタンを設定する方法

このセクションでは、次のタスクについて説明します。

- [「Cisco Unified CME での DnD 機能ボタンの設定」\(P.4\)](#)

Cisco Unified CME での DnD 機能ボタンの設定

SCCP CUCME で DnD 機能ボタンを設定するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `ephone phone-tag`
4. `feature-button tag {dnd | privacy}`
5. `end`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable</code> 例: Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<code>configure terminal</code> 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<code>ephone phone-tag</code> 例: Router(config)# ephone 6	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 • <code>phone-tag</code> - 設定タスク中この <code>ephone</code> を特定する一意のシーケンス番号。ephone の最大数はバージョンやプラットフォームによって異なります。? を入力すると 範囲が表示されます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	feature-button <tag> [feature id] 例: Router(config-ephone)# feature-button 1 dnd	機能ボタンを定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • tag - 機能ボタンの番号。 • feature id - 機能の名前。dnd または privacy です。
ステップ 5	end 例: Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

例

```
ephone 1
feature-button 1 Dnd
feature-button 2 Privacy
mac-address 0017.E03F.B1E8
type 7961
```

Cisco Unified CME で表示の無制限を設定する方法

このセクションでは、次のタスクについて説明します。

- [「Cisco Unified CME での表示の無制限の設定」 \(P.5\)](#)

Cisco Unified CME での表示の無制限の設定

SCCP CUCME で表示の無制限を設定するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone *phone-type***
4. **unrestricted-display**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例: Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	ephone <i>phone-type</i> 例： Router(config)# ephone-type ABC	ephone-type コンフィギュレーション モードを開始します。 • phone-type - イーサネット電話機のタイプを定義します。
ステップ 4	unrestricted-display 例： Router(config-ephone-type)# unrestricted-display	ephone のメッセージ表示オプションを記述する一連の属性を定義します。
ステップ 5	end 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

例

```
Router#en
Router#configure terminal
Router(config)# ephone-type ABC
Router(config-ephone-type)# unrestricted-display
```

Cisco Unified CME で after-hour login http を設定する方法

このセクションでは、次のタスクについて説明します。

- [「Cisco Unified CME での表示の無制限の設定」 \(P.5\)](#)

Cisco Unified CME での after-hour login http の設定

SCCP CUCME で after-hour login http を設定するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone** *phone-tag*
4. **Pin**
5. **after-hour login http**
6. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	ephone phone-tag 例： Router(config)# ephone 6	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 • phone-tag - 設定タスク中この ephone を特定する一意のシーケンス番号。ephone の最大数はバージョンやプラットフォームによって異なります。? を入力すると 範囲が表示されます。
ステップ 4	Pin 例： Router(config-ephone-type)#pin 123	IP Phone からの発信コールのブロックを解除する番号パターンを定義します。
ステップ 5	after-hout login http 例： Router(config-ephone-type)#after-hour login http	IP Phone からの発信コールのブロックを解除します。
ステップ 6	end 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

例

```
Router(config)# ephone 6
Router(config-ephone)# mac 00e0.8646.9242
Router(config-ephone)# button 1:33
Router(config-ephone)# Pin 123
Router(config-ephone)# after-hour login http
```

参考資料

ここでは、Cisco Unified CME に関する参考資料について説明します。

関連ドキュメント

関連トピック	ドキュメントのタイトル
Cisco Unified CME の設定	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified Communications Manager Express System Administrator Guide Cisco Unified Communications Manager Express Command Reference
Cisco Unified CME のネットワーク設計	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified CallManager Express Solution Reference Network Design Guide
Cisco IOS 音声設定	<ul style="list-style-type: none"> Cisco IOS Voice Configuration Library Cisco IOS Voice Command Reference
Cisco Unified CME の電話機に関するドキュメンテーション	<ul style="list-style-type: none"> User Documentation for Cisco Unified IP Phones

規格

規格	タイトル
この機能でサポートされる新しい規格または変更された規格はありません。また、既存の規格に対するサポートに変更はありません。	—

MIB

MIB	MIB リンク
この機能でサポートされる新しい MIB または変更された MIB はありません。また、既存の MIB に対するサポートに変更はありません。	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、フィーチャセットの MIB の場所を検索してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

RFC

RFC	タイトル
この機能でサポートされる新しい RFC または変更された RFC はありません。また、既存の RFC に対するサポートに変更はありません。	—

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>Cisco Support Web サイトでは、ドキュメンテーションやツールなどのオンライン リソースを利用して、トラブルシューティングやシスコ製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てられます。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> テクニカル サポートを受ける ソフトウェアをダウンロードする セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける ツールおよびリソースへアクセスする Product Alert の受信登録 Field Notice の受信登録 Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索 Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する トレーニング リソースへアクセスする TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>Japan テクニカル サポート Web サイトでは、Technical Support Web サイト (http://www.cisco.com/techsupport) の、利用頻度の高いドキュメントを日本語で提供しています。Japan テクニカル サポート Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。</p> <p>http://www.cisco.com/jp/go/tac</p>	<p>http://www.cisco.com/techsupport</p>

Cisco Unified CME 8.0 の機能情報

表 1 に、この機能のリリース履歴を示します。

すべてのコマンドが、ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースで使用できるとは限りません。特定コマンドのリリース情報については、コマンド リファレンスのドキュメンテーションを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator を使用すると、特定のソフトウェア リリース、フィーチャセット、またはプラットフォームをサポートする Cisco IOS ソフトウェア イメージを判別できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 1 に、特定の Cisco IOS ソフトウェア リリース群に含まれる特定の機能について、そのサポートが最初に導入されたリリースだけを示します。特に明記されている場合を除いて、該当する Cisco IOS ソフトウェア リリース群では、後続のリリースでもその機能がサポートされます。

表 1 Cisco Unified CME 8.0 の機能情報

機能名	リリース	機能情報
Cisco Unified CME 8.0	15.1(1)T	DnD 機能ボタンと MeetMe 会議ブリッジのロック解除のサポートが追加されました。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, and Flip Gift Card are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GainMaker, GigaDrive, HomeLink, iLYNX, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0908R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2009 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2009–2010, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.